



水道タンク建設に向けて

安全で安心な水道水を

皆さんへ安定供給するため

第3期 拡張事業に取り組んでいます

水道事業の現状と 上水道事業の展望

阿久比町の配水場は八ヶ谷配水場と草木配水場の二カ所です。ともに町西部の丘陵地にあります。

二カ所の配水場から加圧方式により、町全域に水道水を供給していますが、阿久比川を横断して、町の東部側に供給するための配水本管は、白沢地区と卯坂地区の二本しかありません。もし、地震や災害などで多大な被害が発生して、配水管が破損した場合、町の東部側への給水が困難になる状況が考えられます。また、東部学区で進められている区画整理事業や宅地開発により、今後水道水の需要が見込まれます。

これらのことを踏まえ、町では上水道第三期拡張事業策定作業（平成

三年）を行いました。その事業で、町東側丘陵地（板山地区内）に三カ所目となる配水場建設の計画を進め、安全で安心な水道水を町民の皆さんへ供給できるよう、現在、給水施設

整備に取り組んでいます。この第三供給点が完成すれば、阿久比町全体に安定した「水」の供給が可能となり、より快適な生活環境が整うこととなります。



拡張事業は配水池（水道タンク）などの水道施設を整備する事業です。

八ヶ谷配水場（矢高字樺西地内）

第1期拡張事業により整備 昭和46年3月

配水池容量 1,000m³ × 2池

供給地区 南部学区、東部学区の一部

草木配水場（草木字蓮池地内）

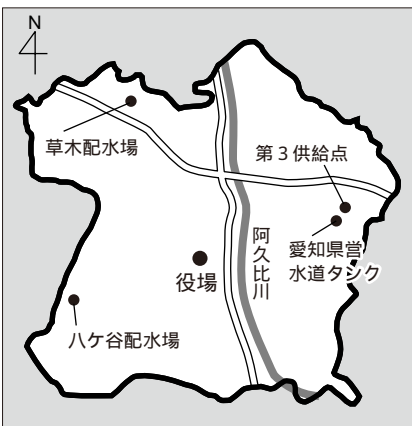
第2期拡張事業により整備 昭和52年3月

配水池容量 3,400m³ × 1池

供給地区 草木学区、英比学区、東部学区の一部

用地の選定と 周辺環境保全

第三供給点は、六十メートルの標高と供給に必要な施設を建設できる面積が必要であり、町内でこの条件を満たす候補地は多くありません。さらに開発要件を満たす法律の規制や事業費の抑制、災害時の施設の安



阿久比町上下水道課
内339・340